

ヒカゲツツジを訪ねて 丹波・向山連山

2019年4月27日

<参加メンバー> 7人(男性5人、女性2人)

<天候> 曇り時々雨

<コースタイム>

JR石生駅 9:56 着、10:06 発 — 10:29 水分れ公園 — 10:48 観音堂登山口 — 11:09 二の山 — 11:39 三の山 — 11:50 四の山 (ランチタイム) 12:09 発 — 12:17 松の台展望所 — 12:27 深坂北峰 — 12:39 向山 — 12:51 五の山 — 13:11 蛙子峰 — 13:32 清水山 — 13:59 剣爾山 — ドイツストラ (Beer タイム) — 15:00 石生駅 15:21 発の電車で帰路に着く

<山行の概要>

GWに会の日帰り山行がなかったので企画した。丹波の山にはヒカゲツツジの群落が多く、4月のこの時期は多くのハイカーで賑わっている。少し遅いかと思ったが、今年は4月以降寒波が来たためか、花殻が沢山落ちていたが最後のヒカゲツツジが私たちを迎えてくれた。地味な花だが阪神間では見ることができない花である、

向山連山は500m程度の低山だが、急登とアップダウンが多く、甘く見てはいけない山だ。そして、変化がありよい山だった。



1. JR石生(いそう)駅を出発する



2. 暫く水分れ公園をめざして歩く



3. 日本一低い谷中央分水界の解説板
ここで日本海側と瀬戸内海に水のしずくが分かれるそう



4. 途中、道を間違ったが観音堂登山口に到着



5. 観音堂前から登山道に入る



6. 多くの山が鹿除除の柵やネットを張っているが、ここも被害が多いようだ。鹿除けの門扉を開けて山に入る



7. いきなり急登の連続となり、遊びの少ない登りが続く



8. 最初の小ピーク、二の山に到着する



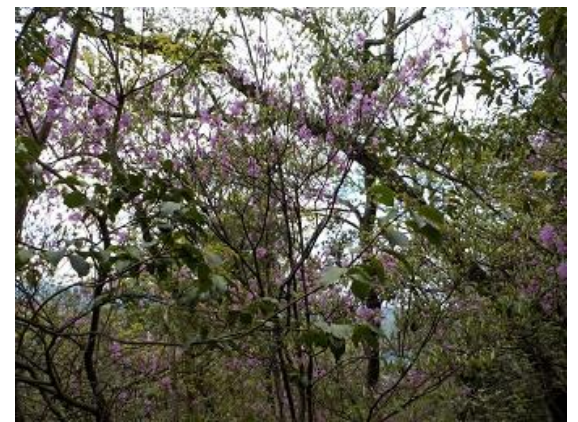
9. 山の上に中央分水界起点の表示が...



10. 岩座展望所の道標



11. 岩の上から丹波の柏原辺りの町並みが見える



12. ミツバツツジは咲いてはいるが、ほとんど終わりのようだった



13. 三の山を通過



14. 四の山に到着 ここでランチタイムとしたが、風が強くて寒いところに、一時アラレも降り出し、ゆっくり休憩できなかった



15. ここでようやくお目当てのヒカゲツツジに会えた。まだ、結構咲いてくれた



16. 松の台展望所を通過



17. 深坂北峰に到着 向山はもうすぐ



18. これがヒカゲツツジ



19. ヒカゲツツジの花殻が道を埋めている



20. 春に咲くミヤマシキミの地味な花でも清楚



21. 向山連山には〇〇展望所というのがいくつかある



22. 向山頂上 カメラマン以外全員集合



23. 五の山を通過



24. アセビも多く咲いていて、一面アセビの花殻で白くなっていた



25. 途中こんな岩場もなん箇所もある



26. 蛙子峰を通過



27. 清水山に到着



28. 清水山にはでかい反射板がある



29. ここから激下りが連続する



30. 途中の剣爾山を通過



31. 激下りを終え、里に降り立った



32. そして、車道歩きとなり石生駅をめざす



33. 無人の石生駅に到着。券売機で切符を買い、帰路についた